

感染経路いろいろ・勉強して早期発見

体の中で最も多機能で、働き者の臓器は？答は肝臓。今月のテーマは「肝炎」。働き者の肝臓は多分で我慢強いので、気が付かぬうちに肝炎が進行していることがある。あなたの肝臓は大丈夫？

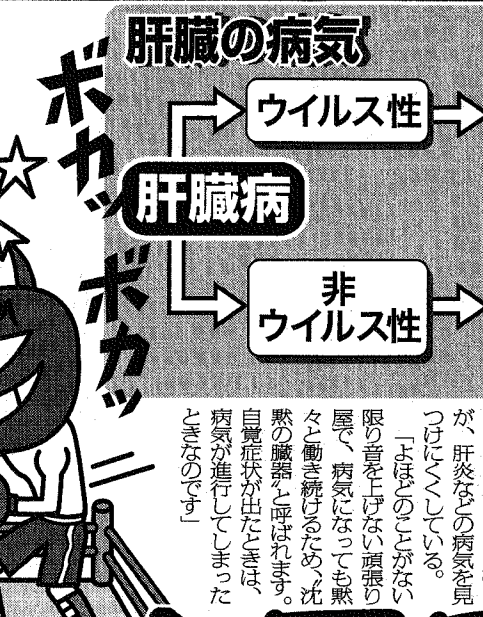
「肝臓は多機能で、働き者の臓器は？答は肝臓。今月のテーマは「肝炎」。働き者の肝臓は多分で我慢強いので、気が付かぬうちに肝炎が進行していることがある。あなたの肝臓は大丈夫？」

強すぎて鈍感
「肝臓は多機能で、働き者の臓器は？答は肝臓。今月のテーマは「肝炎」。働き者の肝臓は多分で我慢強いので、気が付かぬうちに肝炎が進行していることがある。あなたの肝臓は大丈夫？」

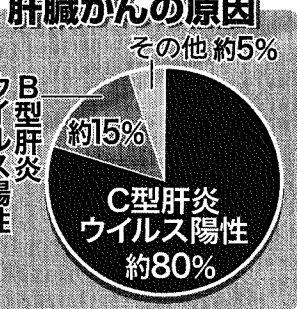
「普段はよく割の能力で働いているので、多少のダメージを受けても肝臓細胞が死んでもトカゲのシッポのように再生します」

「肝臓の半分を切り取っても、大きく、機能ともに回復可能。健康な人の肝臓を一部切除して移植する「生体肝移植」ができるのも、肝臓がたくましいからだが、この強さが、肝炎などの病気を見過ごしてしまっている」

「肝臓の半分を切り取っても、大きく、機能ともに回復可能。健康な人の肝臓を一部切除して移植する「生体肝移植」ができるのも、肝臓がたくましいからだが、この強さが、肝炎などの病気を見過ごしてしまっている」



酒のせい!?!いやいや 主原因はウイルス



種類いっぱい
肝臓病の原因はウイルス、アルコール、薬剤、自己免疫異常など。「肝臓病」酒の飲みすぎと、このイメージがあるが、肝炎はほとんどがウイルス性である。

「アルコール性肝障害から肝炎になるケースは多くない、ストレスが肝臓病の直接的な原因になることはありませぬ」

肝炎は、急性と慢性に大別できる。急性肝炎は、

限界まで「仕事」

〇〇肝臓は最も大きな臓器で、重さは成人で1.2~1.5kg、肝細胞の数は250億個以上。心臓は250~300gで握り拳くらいの大きさ。胃が握り拳大であるのと比べると、肝臓が相当に大きい臓器であることが分かる。予備能力が高く、我慢強いので、肝臓の約8割がダメージを受けて、ようやく症状が出るとも

の専門医として、豊富な経験を持ち、肝炎、肝硬変、自己免疫性肝疾患、肝がんなどの治療に力を注いでいる。専門書の執筆・編集でも活躍中。

◆柴田内科・消化器科クリニック◆
www.shibata-hepa-clinic.com

トビックス

「急性肝炎はウイルスに初めて感染したときに起こる症状の強い肝炎ですが、通常は自然に治癒に向かうので、恐ろしい病気ではありません。問題は、急性肝炎の一部が慢性肝炎に進行することです。慢性肝炎は症状が出にくく、放置すると肝硬変になってしまうこともあります」

慢性肝炎が長らく続くと、肝細胞と肝細胞のすき間に「線維」という細い組織が伸び、いき、それがカメの甲羅のように結びついてやがて肝硬変になっていきます。

肝硬変になると肝臓がんのリスクが高くなるので、肝炎の段階で早期発見・治療することが大切です。

「肝炎の原因はほとんどがウイルス。ウイルス性肝炎にはいくつかの種類があるので、それぞれが異なる感染経路やリスクを知り、早期発見できるようにしていただきますね」

(メテカルライター) 四宮 規子

新出 亀田(しん)で

健康教育コンサルタント、管理栄養士、産業カウンセラー、企業や診療所での食育のかたわら、

健康教育コンサルタント、管理栄養士、産業カウンセラー、企業や診療所での食育のかたわら、

ミカン

最近ではあまの見たけななりましかが小学生の頃は、冬から

この時期にかけて手のひらが黄色い子を見ま

老化&がん予防に効果

老化とがん予防に効果

BAND-AID

「傷を早く癒す」

「傷を早く癒す」